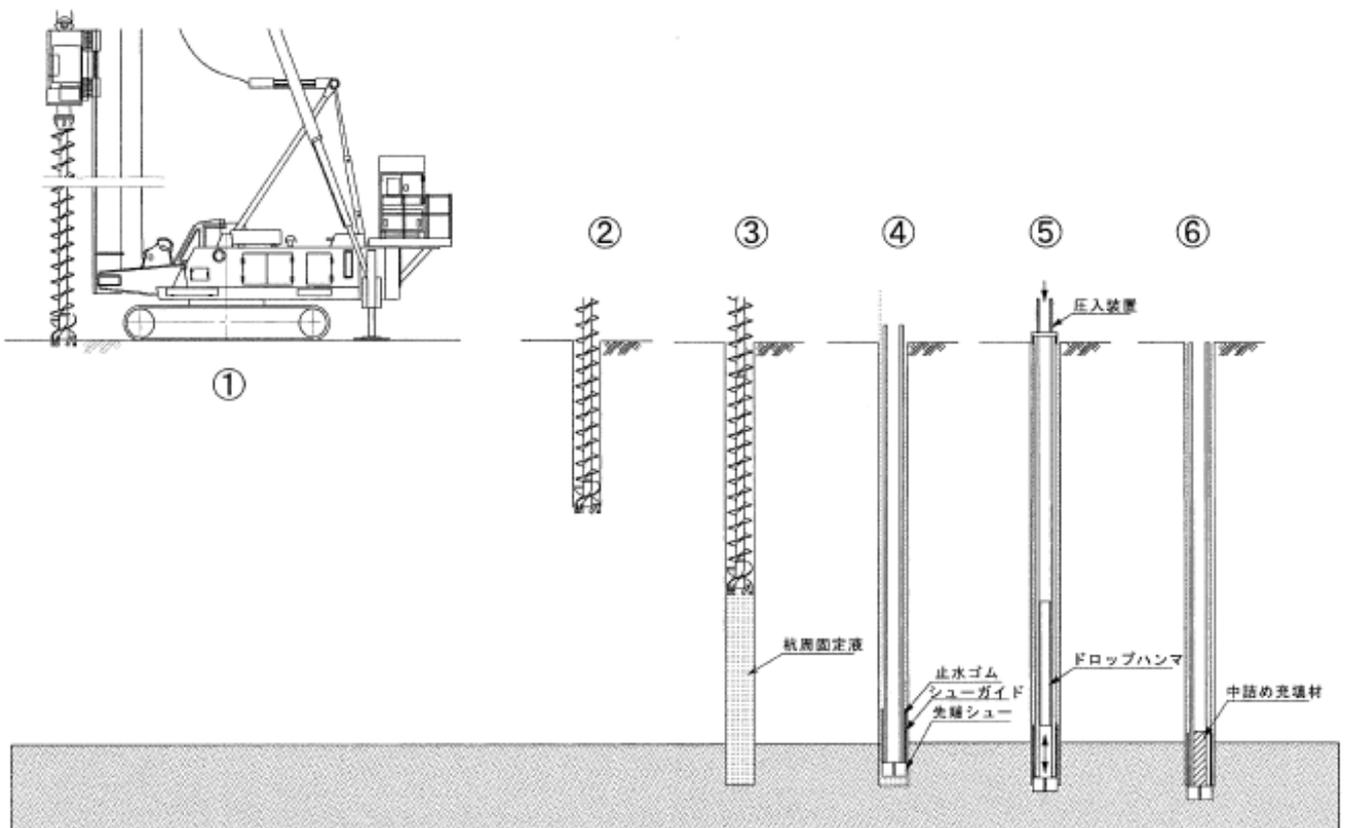


プレボーリング最終打撃工法

旧建設大臣認定工法で、認定取得会社の施工による。施工プロセスが異なるものもあるが、その一例を示す。掘削液を注入しながらオーガで先行掘削した後、掘削孔に特殊な先端シューや先端金具を取り付けた杭を挿入し、杭頭または先端部を打撃して支持力を発現させる。比較的低い振動、騒音で施工でき、支持力算定式における支持力の評価がプレボーリング根固め工法より高い。先端支持力度が 25 N A p のものと 30 N A p のものがある。適用杭径は、 $300 \sim 600 \text{ mm}$ 程度、最大杭長は、 40 m 程度。



- ① 杭心位置にアースオーガを建込み、鉛直度を確認する。
- ② アースオーガで地盤を掘削する。
- ③ 所定の深度まで掘削後、杭周固定液を注入しながらアースオーガを引き上げる。
- ④ 先端部に可動シューを取付けた杭を鉛直度を確認しながら掘削孔内に挿入する。
- ⑤ ドロップハンマを杭中空部内に挿入し、杭先端部の可動シューを打撃する。
- ⑥ 杭先端部にセメントミルクを打設し、可動シューと杭本体を一体化する。